

海南消告示第24号

令和6年度上半期海部南部消防組合財政状況の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び海部南部消防組合財政状況の公表に関する条例（昭和48年海部南部消防組合条例第18号）の規定に基づき、令和5年度決算及び令和6年4月1日から令和6年9月30日までの期間における海部南部消防組合の財政状況を別紙のとおり公表する。

令和6年11月26日

海 部 南 部 消 防 組 合

管 理 者 安 藤 正 明

まえがき

海部南部消防組合の財政状況につきましては、1年を2期に分けて公表しています。

今回は令和5年度の決算の概要及び令和6年度上半期における予算の執行状況について申し述べ、管内住民の皆様には海部南部消防組合の財政状況について御理解いただくとともに、今後の組合運営に積極的な御協力をお願いします。

1 令和5年度決算の状況について

一般会計においては、歳入決算額が1,997,516,126円、歳出決算額が1,972,984,787円となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は、24,531,339円となりました。

また、消防指令センター特別会計においては、歳入決算額が92,104,129円、歳出決算額が92,102,001円となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は、2,128円となりました。

(1) 一般会計の決算の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	942,250,000	942,233,598	99.9
2 使用料及び手数料	30,178,000	28,303,040	93.8
3 国庫支出金	2,000	0	0.0
4 県支出金	1,000	0	0.0
5 財産収入	18,000	425,275	2362.6
6 寄附金	1,000	0	0.0
7 繰入金	220,414,000	220,412,500	99.9
8 繰越金	67,627,000	67,627,206	100.0
9 諸収入	8,942,000	9,014,507	100.8
10 組合債	729,500,000	729,500,000	100.0
歳入合計	1,998,933,000	1,997,516,126	99.9

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 議会費	458,000	284,647	62.2
2 総務費	1,065,862,000	1,059,634,205	99.4
3 消防費	930,942,000	912,832,320	98.1
4 公債費	234,000	233,615	99.8
5 予備費	1,437,000	0	0.0
歳出合計	1,998,933,000	1,972,984,787	98.7

(2) 一般会計の住民負担の状況

科 目	支出済額 (円)	住民1人当たりの経費 (円)
1 議会費	284,647	6
2 総務費	1,059,634,205	21,847
3 消防費	912,832,320	18,820
4 公債費	233,615	5
5 予備費	0	0
歳出合計	1,972,984,787	40,678

備考 住民基本台帳に基づく令和5年4月1日現在における人口48,503人

注 経費は、それぞれ小数点以下を四捨五入しているため、合計において一致しない。

(3) 消防指令センター特別会計の決算の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	81,840,000	75,547,826	92.3
2 国庫支出金	1,000	0	0.0
3 繰入金	17,763,000	16,555,476	93.2
4 繰越金	1,000	2	0.2
5 諸収入	2,000	825	41.3
歳入合計	99,607,000	92,104,129	92.5

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 消防指令センター費	94,594,000	92,102,001	97.4
2 諸支出金	13,000	0	0.0
3 予備費	5,000,000	0	0.0
歳出合計	99,607,000	92,102,001	92.5

(4) 財政構造

ア 一般会計

歳入においては、構成市村である弥富市と飛島村からの負担金が942,233,598円で、歳入総額に占める割合は47.17パーセントとなっています。組合債は、新庁舎建設事業として667,400,000円、指令の共同運用整備事業として62,100,000円を地方債として借り入れています。

歳出においては、総務費が1,059,634,205円で、歳出総額に占める割合は53.71パーセント、消防費が912,832,320円で、歳出総額に占める割合は46.27パーセントとなっています。

歳出を性質から見ると、人件費、扶助費といった義務的経費が842,07

7,332円で歳出総額に占める割合は42.68パーセントとなっています。

イ 特別会計

特別会計は、消防指令センターの円滑な運営とその経理の適正を図るために設置したもので、歳入においては、津島市、愛西市、蟹江町及び海部東部消防組合からの負担金が75,547,826円で、歳入総額に占める割合は82.0パーセント、当組合の一般会計からの繰入金が16,555,476円で、歳入総額に占める割合は18.0パーセントとなっています。

歳出の主なものは、消防通信指令設備保守点検整備業務委託料が42,881,190円、消防救急デジタル無線システム保守管理業務委託料が26,506,700円で、これらの委託事業の歳出総額に占める割合は75.3パーセントとなっています。

2 令和6年度上半期財政状況（令和6年9月末日現在）

(1) 一般会計の歳入及び歳出の状況

<歳入>

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	1,061,720,000	1,061,375,000	99.9
2 使用料及び手数料	30,178,000	14,403,230	47.7
3 国庫支出金	2,000	0	0.0
4 県支出金	1,000	0	0.0
5 財産収入	168,000	2,378	14.1
6 寄附金	1,000	0	0.0
7 繰入金	2,315,000	0	0.0
8 繰越金	40,000,000	24,531,339	61.3
9 諸収入	8,941,000	3,910,012	43.7
10 組合債	1,435,200,000	0	0.0
歳入合計	2,578,526,000	1,104,221,959	42.8

<歳出>

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 議会費	594,000	840	0.1
2 総務費	1,555,266,000	1,405,812,581	90.4
3 消防費	1,013,991,000	459,221,282	45.3
4 公債費	6,873,000	6,868,166	99.9
5 予備費	1,802,000	0	0.0
歳出合計	2,578,526,000	1,871,902,869	72.6

(2) 一般会計の住民負担の状況

科 目	予算現額 (円)	住民1人当たりの経費 (円)
1 議会費	594,000	12
2 総務費	1,555,266,000	32,122
3 消防費	1,013,991,000	20,943
4 公債費	6,873,000	142
5 予備費	1,802,000	37
歳出合計	2,578,526,000	53,257

備考 住民基本台帳に基づく令和6年4月1日現在における人口48,417人

注 経費は、それぞれ小数点以下を四捨五入しているため、合計において一致しない。

(3) 消防指令センター特別会計の歳入及び歳出の状況

〈歳入〉

科 目	予算現額 (円)	収入済額 (円)	収入率 (%)
1 分担金及び負担金	118,995,000	46,171,000	38.8
2 国庫支出金	1,000	0	0.0
3 繰入金	26,199,000	8,666,000	33.1
4 繰越金	1,000	2,128	212.8
5 諸収入	2,000	2,702	135.1
歳入合計	145,198,000	54,841,830	37.8

〈歳出〉

科 目	予算現額 (円)	支出済額 (円)	執行率 (%)
1 消防指令センター費	140,185,000	112,751,734	80.4
2 諸支出金	13,000	0	0.0
3 予備費	5,000,000	0	0.0
歳出合計	145,198,000	112,751,734	77.7

(4) 財産並びに地方債及び一時借入金の現在高 (令和6年9月末日現在)

ア 財産現在高

区 分		令和5年9月末日現在高
土地	本 署	13,734.79㎡
	分 署	5,055.00㎡
	出張所	(500㎡)
建物	本 署	2094.57㎡ (479.28㎡)
	分 署	753.82㎡

	出張所	224.68㎡
車両・ 設備等	消防自動車	13台
	救急自動車	4台
	津波・大規模風水害対策資機材	1式
	水陸両用バギー	1台
	その他の車両	10台 (1台)
	原動機付自転車	6台
	舟艇	7艇
	小型動力ポンプ	2台
	フロートジェットポンプ	1台
	空気拡張式テント	1式
	動力油圧救助器具	1式
	電動油圧救助器具	2式
	高度救助用資機材	1式
	署内ネットワーク設備	1組
	総合通信ネットワーク設備	1組
	高機能消防通信指令設備	1式 (1式)
	光ネットワーク設備	1式 (1式)
	消防救急デジタル無線設備	1式 (1式)
Net119緊急通報システム	1式 (1式)	
基金	財政調整基金	98,805,411 円
	施設整備基金	255,001,671 円

備考1 土地の項中 出張所は、飛島村からの借用（500㎡）である。

2 建物の項中（ ）内は、別棟の訓練塔、倉庫、車庫の面積である。

3 建物の項中 出張所は、224.68㎡の他に飛島村から200㎡（飛島村消防団車庫）を借用し、延べ面積424.68㎡である。

4 車両・設備等の項中（ ）内は、海部地方消防通信指令事務協議会関係によるものである。

イ 地方債現在高 737,622,209円

ウ 一時借入金現在高 該当なし

むすび

当組合の歳入は、ほとんどが構成市村からの負担金からなり、また、令和6年度からは、新庁舎建設事業及び消防指令システムの共同運用整備事業のための組合債が大

きく加わってきました。歳出は、義務的経費である人件費、扶助費等の歳出総額に占める割合が42.68パーセントと大きなものとなっています。

さて、本組合では、令和5年度から新庁舎建設事業及び名古屋市との指令システム共同運用整備事業を進めており、ともに令和7年4月1日運用開始となります。また、消防救急デジタル無線事業の共同運用についても、令和7年度からの整備に向け準備を進めています。ほかにも、はしご車の更新を令和7年度に予定するなど、令和5年度から令和7年度にかけてのこれらの事業は、多額の経費を要するため、今まで以上に厳しい財政運営が求められます。

日頃からコスト意識を強く持ち社会経済情勢や住民ニーズの的確な把握を徹底するとともに創意工夫と柔軟な発想を持って住民サービスの向上を図ります。また、限られた財源のもと、将来に向けてより一層健全な財政運営に取り組んでいきます。

職員一丸となって住民の皆さまの期待に応えるとともに、当組合財政への深い御理解と財政運営へのより一層の御理解と御協力をお願いします。